5月

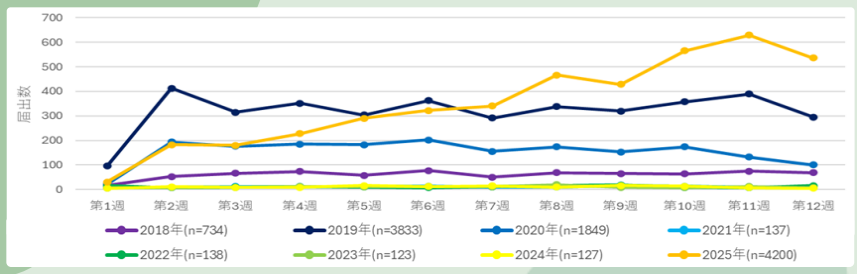
掲載情報
第19週：5/ 5~5/11
第20週：5/12~5/18

野田地域感染症情報

発行日：2025年5月22日

百日咳発生状況

【全国】第1～12週における診断週別百日咳届け出数（2018～2025年）

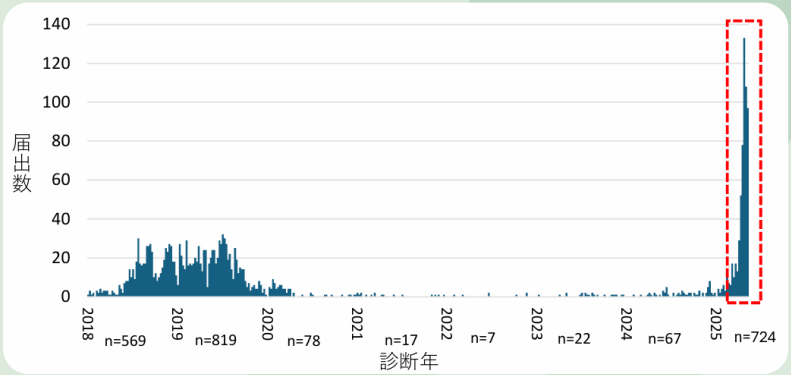


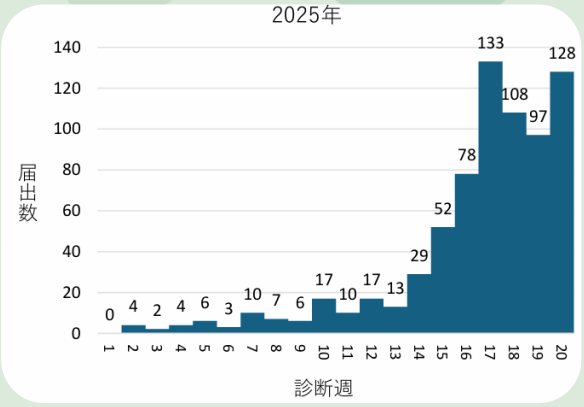
2018年から2019年にかけて届出数が増加したが、2020年から2022年にかけて大幅に減少。2023年には届出数が約2倍に増加したものの、依然として2019年比で約94%減少した低水準を維持。

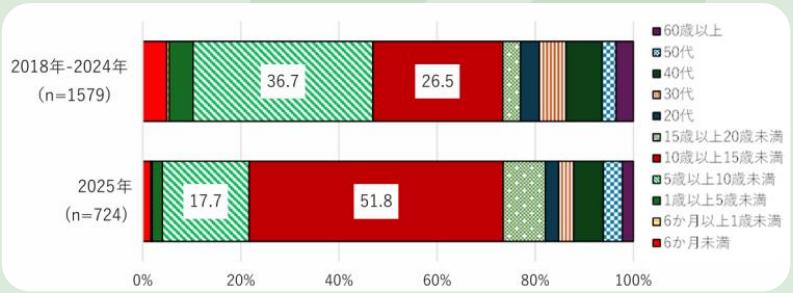
2024年以降は増加傾向が見られ、2025年の診断週第12週時点で4,200例となり、2018年以降の同時期として過去最多を記録。すでに2024年の年間届出数を超えています。

■ 感染症法に基づく医師届出ガイドライン （第三版） 百日咳

【千葉県】第1～12週における診断週別百日咳届け出数（2018～2025年）







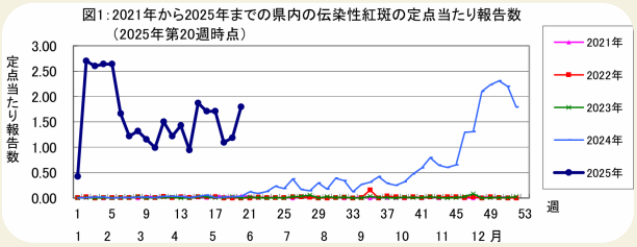
2025年第20週に、県内の医療機関から128例の届出があり、累計で724例となりました。過去7年の同時期と比較すると、2019年の最も多かった届出数を超えています。

全国では第19週に1,792例の届出があり、累計で16,475例となりました。近隣都県では、第19週に東京都で92例、神奈川県で51例、埼玉県で64例、茨城県で45例の届出がありました。

2025年は、2018年から2024年との比較において、10歳以上15歳未満の割合が約半数と、高くなっています。

■ 千葉県の百日咳発生状況 2025年第20週
■ 百日咳 ポスター 厚生労働省（百日咳にご注意ください）

県内で伝染性紅斑（りんご病）が増加しています



2025年第20週、県内のりんご病報告数は増加し、例年より高い水準で注意が必要です。

国内の注意すべき感染症

■ 【愛媛県】重症熱性血小板減少症候群（SFTS）の注意喚起について
▸愛媛県 （5月13日プレス発表）

■ 【島根県】鳥取市保健所管内における重症熱性血小板減少症候群（SFTS）の発生
▸鳥取市保健所（5月12日プレス発表）

■ 気温が高くなり、蚊やマダニが媒介する感染症が増える時期になりますので、ご注意を！ ▸節足動物媒介感染症

■ 麻しん（はしか）患者の発生について（千葉県）

■ 埼玉県で水痘の報告が増加しています
▸埼玉県 水痘の流行注意報を発令します！ ～妊婦など重症化しやすい方は注意しましょう～

野田保健所管内感染症発生状況

全数把握疾患			結核			
3類	4類	5類	活動性肺結核		活動性肺外結核	潜在性結核
			喀痰塗抹(+)	喀痰塗抹(−)		
0	0	5	0	0	0	0
百日咳 4件 梅毒 1件						

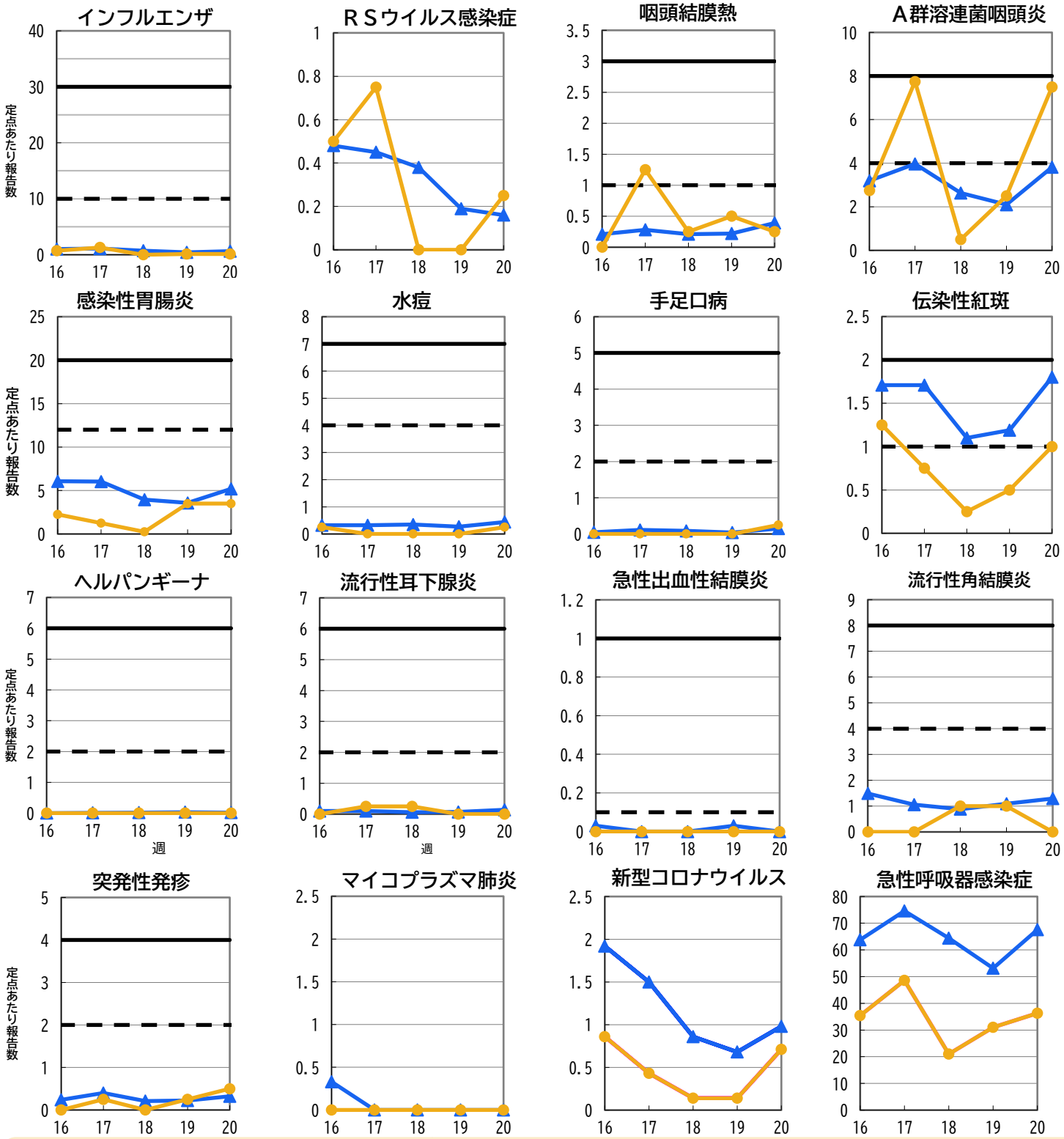
参考文献リンク集

- 国立健康危機管理研究機構 感染症発生動向調査週報（IDWR） 最新版
- 厚生労働省・検疫所FORTH
- 厚生労働省 感染症情報
- 国立感染症危機管理研究機構
- AMR臨床リファレンスセンター
- 千葉県感染症情報センター

野田保健所管内の感染症発生動向（最近5週）

管内　県全体　警報基準値　解除基準値

マイコプラズマ肺炎とクラミジア肺炎は基幹定点医療機関のみ報告.（野田保健所管内に基幹定点はありません）
RSウイルス感染症・マイコプラズマ肺炎・新型コロナ感染症は警報基準値等の設定はありません。
令和7年4月7日より定点報告疾患に「急性呼吸器感染症」が追加されました（表最右下）



（グラフの見方）　※疾患により警報基準値は異なります
グラフの横軸は、「週数」を表します。また、縦軸は「定点あたり報告数（患者数）」を表します。「定点」とは、保健所に患者の発生を報告してくれる医療機関のことで、「定点あたり報告数」とは、定点一か所から一週間にどの位の患者報告があったかの平均値を表します。この数値により野田保健所管内の当該感染症の流行状況が把握できます。「定点あたり報告数」が警報基準値を超えるようであれば、当該感染症が非常に流行していることを表します。